

2年間で

栄養士免許

を取得しませんか

生涯学習の
チャンス



大妻女子大学
短期大学部家政科
食と栄養コースHP

会社員
の方も

主婦
の方も

定年後
の方も

各種学校等
修了後の方も

社会人入試

出願締切：令和8年11月 6日（金）

試験日：令和8年11月21日（土）面接

*その他の入試方法もあります。詳しくは大学ホームページをご覧ください。

社会人にとって、
栄養士免許を取得する
理由はさまざまです

家族のために学びたい

食について学びを深めたい

ステップアップしたい

さまざまな年代
(20代~60代)の方々が、
2年間で栄養士免許を
取得しています

栄養士は社会のさまざまなところで活躍しています

病院

社員
食堂

保育園

学校
給食

「栄養士免許」= 国家資格

高齢者
施設

食品
企業

農協
など



本コースは、教育訓練給付金の対象となる「専門実践教育訓練」の指定講座に認定されました（令和8年度入学者より適用）。詳細は右のQRコードから、厚生労働省のHPでご確認ください。



Instagramで、
学内の様子
を見られます



大妻女子大学短期大学部家政科
食と栄養コース





社会人入試で入学した卒業生の声



調理師から栄養士へ

調理師学校卒業後、食品会社で栄養価に配慮したメニューを考案する機会があり、栄養士免許を取得したいと思うようになりました。大妻卒業後、料理教室の講師や保育園栄養士を経て、現在は業務用野菜を扱う会社で食品ロス削減に取り組んでおり、大妻の在学生による食育ボランティア活動のサポートもしています。

20代で入学 S. A.さん

契約社員から正社員へ

介護関係の会社で契約社員の調理師として働いていましたが、大妻での栄養士免許取得後は、同じ会社に正社員として迎えられ、待遇が良くなりました。その後、大妻の先生方の支援もあり、働きながら勉強して管理栄養士の国家資格を取得することもできました。高齢者の食支援にやりがいを感じています。

30代で入学 S. K.さん

結婚・出産を経て

結婚・出産を経て食事の重要性を知り、調理の仕事から栄養士へのステップアップを目指して入学しました。理数系が苦手でしたが、授業をしっかりと聞いて課題をこなすことで、克服できました。先生方も親切で、充実した図書館もあり、大妻には勉強できる環境が整っています。

40代で入学 A. I.さん

きっかけは子供のスポーツ

子供が部活でスポーツをしており、栄養について体系的に学ぶ必要を感じ、栄養士を目指しました。大妻は実習施設も充実していて、楽しく学ぶことができました。アットホームな雰囲気の中、若いお嬢様方と一緒に授業を受け、授業以外でも共に楽しい時間を過ごしました。

50代で入学 M. F.さん

自分自身と社会のために

料理が好きで、「食」や「健康」に関心があり、自分自身や地域社会への貢献のため、専門知識を深めたいと考えました。入学後は、さまざまな講座があり、栄養や健康について多角的に学ぶことができました。若いクラスメイトとのランチタイムも楽しかったです。

50代で入学 E. W.さん

地域貢献をしたい

在住区の健康福祉地域審議委員をしていた際に、高齢者の食事問題を知り、栄養学を学んで地域に貢献したいと考えました。文系の私が授業についていけるか不安でしたが、クラスメイトや先生方に支えられて、不安が払拭されました。世代を超えた交流ができることも貴重でした。

50代で入学 Y. A.さん

持病の食事管理を学ぶために

持病がきっかけで、食品・栄養を基礎から学び、自分自身の食事献立に役立てたいと考えました。オープンキャンパスでは、説明会で小論文対策のお話もあり、受験に役立ちました。入学後も久々の勉強で不安でしたが、授業での先生方の説明が丁寧で、順調に単位を取得できました。

60代で入学 A. I.さん

このパンフレットについての問い合わせ先：tandaiboshu@ml.otsuma.ac.jp

3～11月開催のオープンキャンパスで個別相談も行っています（詳しくは大学ホームページをご覧ください）。

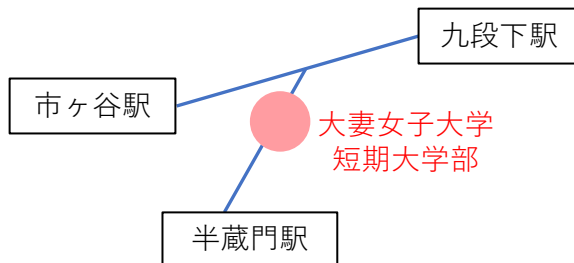
キレイな校舎・充実の設備



アクセス良好

3 駅 6 路線利用可能

JR総武線・有楽町線・南北線
都営新宿線・半蔵門線・東西線



都心・好立地